

『未来に向けて、  
活力と魅力あふれる  
まちづくりを進めて  
まいります』



白河市長 鈴木和夫

あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、産業の振興や子育て、医療、福祉、教育、文化芸術など様々な分野でこれまで蒔いてきた種が芽吹き、本市の持続的な発展に向けた好循環の流れが加速し始めた年となりました。

震災前から誘致に取り組んできた三菱ガス化学(株)のQOLイノベーションセンター白河が竣工を迎えるとともに、児童クラブ等の整備や教育支援制度の拡充などに加え、本市の主要幹線道路である国道294号バイパスの整備なども順調に進められております。

また、文化交流館コミネスも総じて好評を得ており、隣接する図書館りぶらんとともに「市民の広場」として親しまれるなど、街なかには新しい人の流れを生み出しております。

こうした好循環の流れをさらに大きく確実なものとするため、本市の強みである歴史や伝統文化、豊かな自然など、足元にある資源をさらに磨き上げ、誇りと愛着が感じられる「住みよいまち」の実現に向けて、活力と魅力を創造してまいります。

今年、戊辰戦争から150年の節目の年です。近代日本の扉を開いた先人の足跡をひもとき、改めて本市から見た戊辰戦争の意義を考えるとともに、最大の激戦地として歴史に名を刻む「白河」を全国に広く発信してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多き素晴らしい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。



『市民の皆様とともに、  
活気あふれる住みよい  
まちづくりに努力して  
まいります』

## 白河市議会議長 高橋光雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

四季を通して威風堂々とした姿を見せる小峰城三重櫓。その床板や柱には戊辰戦争当時の弾痕がそのまま残っています。本年は、戊辰戦争から150年の節目の年。皆様とともに、白河の悠久の歴史を、改めて見つめ直すまたとない機会であると考えております。

今、本市は、開館一周を迎えた文化交流館コミネスや市立図書館りぶらん、小峰城跡、南湖公園などと併せて、市民が誇りと愛着を持ち、訪れる人々が白河の歴史・伝統文化・自然を体感できる、魅力ある新たな街並み景観が整いつつあります。

さらに、三菱ガス化学株のQOLイノベーションセンター白河が落成し、国道294号バイパスなど、幹線道路の整備も進められております。本市の優れた地理的条件を活かした、新たな発展であり、誠に喜ばしい限りであります。

一方、議会では昨年、市民の皆様から気軽に意見をお寄せいただく「議長への手紙」の開設やインターネットによる議会中継を開始するなど、公平・公正で、市民の皆様に関われた議会の実現へ向けた取り組みを進めてまいりました。

本年も引き続き、市民の皆様とともに、活気あふれる住みよいまちづくりに努力してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多い一年となりますよう心からお祈りいたします。